

# 邦楽爛漫—雪月花—

## 【演目解説】

### 1. 雅楽『仁和楽』

『教訓抄』によれば、光孝天皇の仁和年間に勅命により百済の貞雄が作り、年号を持って曲名にしたものといわれています。

### 3. 箏曲生田流『茉莉花』 牧野由多可作曲

“むいか”とは、和名を“まつりか”ともいい、その起源は古く梵語の Millika に発するもの。インド原産で美しく、香気高く、白色五弁花で、多くの詩歌に謳われている。この作品は、こうした南の国で生まれ、我が国に飛来した、この茉莉花のもつ美しさと魅力をそのまま今日の邦楽器の響きとしてとらえ、この作品の象徴として名付けられたもので、したがって、その主題には、どこかエキゾチックな香りや抒情があり、それがこの曲に一つの性格をあたえている。曲は十七絃独奏によって始まる旋律が全体を支配するテーマとなるが、各楽器の独奏部分（カデンツァ）が多いこと、それが合奏部分との対比をしながら幻想曲風に展開してゆき再び冒頭のテーマに回帰して終る。

昭和39年作曲。

邦楽4人の会委嘱

大日本家庭音楽会「牧野由多可作品集 No.1 茉莉花」より

### 2. 長唄・邦楽囃子・日本舞踊

### 『まかしょ』 二世桜田治助作詞・二世杵屋佐吉作曲

「まかしょ」とは当時市井にいた願人坊主のことで、伝えるところによると、「まかしょ」は白の行衣に白の脚絆手甲、頭には白の木綿を被るという白づくめの格好で、首からは外箱を下げ、手には鈴（りん）を持ち、寒中に絵札を撒き散らしながら銭を乞うといった人物です。その絵札を撒くときは子供たちがまとわり付き、「まかしょ、まかしょ」すなわちお札を撒け撒けといて囃し立てました。本作はその「まかしょ」が主人公です。お酒が大好きな「まかしょ」が、寒参りの代行をするといってお酒話をしながら江戸市中を巡り歩きます。今回は衣裳をつけず、「素踊り」というシンプルな演出で上演いたします。

### 4. 能楽観世流『融』 世阿弥作

この曲の主人公源融は、嵯峨天皇の皇子で後に光源氏のモデルとも言われる当代きっての貴公子です。融は都六条の邸内に、陸奥の千賀の塩竈の景色を写した壮大な庭園（六条河原の院）を築かせ、難波の浦から運ばせた海水を焼いて風情を楽しみました。時代が下り融亡き後、この邸は荒れるにまかせます。紀貫之はその様子を

君まさで烟絶えにし塩竈のうらさびしくも見えわたるかなと詠んでいます。

曲の前半は、月の美しい秋の夜、旅の僧が六条河原の院で塩汲みの老人と出会い、不思議に思いたずねると、庭の来歴や融大臣の事を詳しく語ります。やがて塩を汲む様を見せて何処ともなく消え失せます。その老人こそ、融大臣の霊が仮の姿で現れたものだったのです。

その後融大臣が在りし日の姿で現れ、月光の下、昔日を懐かしみつつ優雅に舞います。舞囃子はこの後半部分を面や装束を付けず、紋付・袴で舞います。舞は「早舞」という軽快で美しい旋律で、貴公子の遊舞に相応しい舞です。秋の風情溢れる趣深い名曲です。

## 台東区立浅草公会堂案内図



台東区立浅草公会堂  
東京都台東区浅草1-38-6

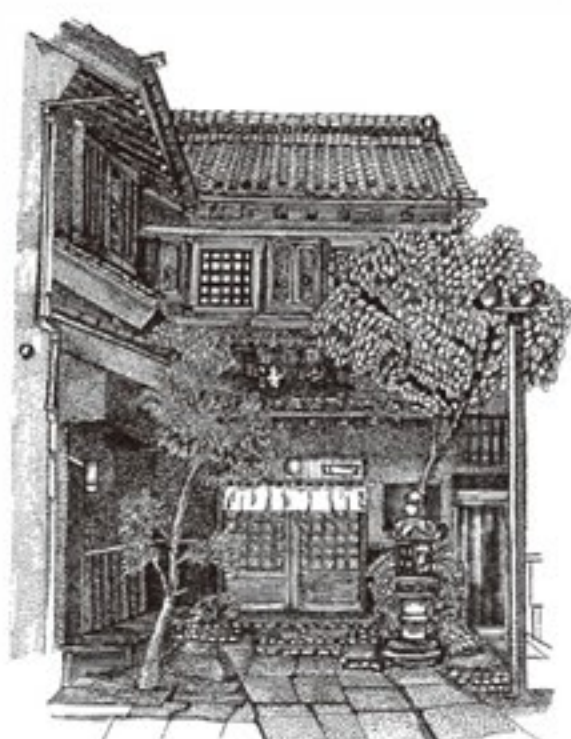
会場には駐車場がございません。お車は雷門駐車場をご利用ください。  
営業時間 7時～23時  
30分毎 200円

雷門通り  
そば處

産張屋

本店  
TEL (3845) 4500

支店  
TEL (3841) 8780  
<http://r.gnavi.co.jp/g615000/>



<http://www.nakasei.biz/>



東京都台東区浅草一ノ三九ノ一三  
電話〇三(三八四)四〇一五(代)  
(浅草公会堂前)

天麩羅中清



囃子が誘う、  
幽玄の世界

この国の佳き伝統とともに  
宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店 創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売  
[www.miyamoto-unosuke.co.jp](http://www.miyamoto-unosuke.co.jp)